

- ◆**会長**／小口 泰幸    ◆**幹事**／宮坂 康弘
- ◆**司会**＝川村 総一郎SAA、吉越 潔副SAA
- ◆**ゲストビジター**＝米山奨学生 張旭光君
- ◆**出席報告**

本日	70.59%	15名欠席
前回訂正	78.40%	11名欠席

- ◆**ラッキーナンバー**＝No. 37 増田哲君
- ◆**ニコニコボックス**＝●小口泰幸君・宮坂康弘君＝本日は会員増業、拡大月間です。選考・分類委員会のみなさん、よろしくお願いたします。●古屋了君＝前回、無断欠席失礼いたしました。●岩波寿亮君・小林由孝君・平林明君、吉越潔君・合田敦子君＝暑い日が続きますが、夏バテしないように乗り切りましょう。●増田哲君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆**会長告知**・小口泰幸君＝本日は先週から開催されていますパリオリンピックについて触れてみたいと思います。オリンピックの聖火台は熱気球でパリの空を飛んでいるのだろうか。2週間にわたって飛び続けるのだろうか。パリオリンピックの開会式を見た人はこのような疑問を抱いたかもしれません。聖火台は、日中は地上に置かれており、日没とともに空に浮かぶ。ただし、地面とはつながっている。聖火台は高さ30mで“炎”の輪は直径7m。日没から午前2時まで、地上60m以上の高さまで浮き上がる。従来型の熱気球のように見えるが、実際はそうではなく、炎のように見えるものは100%電気で実現している。

通常、聖火台はオリンピックのメインスタジアムに設置され大会期間中、地上で炎を明るく燃やし続ける。しかし、パリの式典は100%電気による“炎”は燃料を一切使用しない。炎のような輪は200の高圧噴霧ノズルが作り出す霧を、40個のLEDスポットライトで照らしたものだ。とネットにはかいてありました。つまり、ギリシャで採火され聖火リレーで運ばれてきた炎は形だけだったのでしょか？ガス会社とすれば地球にやさしい天然ガスで燃やしてほしいところでした。

さて、競技ですが本日まで日本が獲得したメダルは金が8個、銀が3個、銅が5個です。皆さんの予想は如何でしたでしょうか。なかなか頑張っていると思います。

私の中で印象に残ったのは、長野市出身フジテレビ倉田大誠アナウンサーが叫んだ名文句「金メダルに恋した14歳」スケートボード女子ストリートの吉沢恋選手。「恋」と書いて「ココ」ワンツーフィニッシュの銀メダル赤間凛音選手。「凛」と「音」で「リズム」。私には読めません。東京大会は「13歳、真夏の大冒険」のフレーズ、西矢栂選手が金メダル。この年代でこういう名前でないとなかなか勝てないのかと思ってしまいます。スケートボード男子ストリートはラスト一本で大逆転の堀米雄斗選手が金メダルを獲得。初採用された東京五輪との2連覇を達成しました。解説者が「やばあ」を何度も言っていたのが話題となりました。そして、馬術ではチーム「初老ジャパン」が馬場馬術とクロスカントリーと障害馬術の3種目で競う「総合馬術」の団体で92年ぶりのメダル獲得。地元諏訪

「nittoh」所属の大岩義明選手48歳が活躍されました。大岩選手は北京大会から5大会連続で出場しております。選手が馬とコミュニケーションを取り指示を出して馬が反応する総合的な能力が問われる。選手と馬の信頼関係が大事。まさに人馬一体の快挙でした。これからまだまだ続きます。日本選手団の今後益々の活躍を期待したいと思います。

- ◆**幹事報告**・宮坂康弘君＝①本日の例会は、会員増強・選考・分類委員会による「会員増強拡大月間」です。会員増強、会員選考、職業分類委員会の皆さんよろしくお願いたします。②本日のゲストビジターは、米山留学生の張旭光さんです。のちほど、近況報告を行っていただき、奨学金をお渡しします。③7月のロータリーレートは1ドル154円です。④来週8月9日の例会は、納涼家族例会です。会場は塩尻市のフェリススクレールです。親睦・クラブ親善委員会の皆さんよろしくお願いたします。⑤RI2600地区諏訪グループから、「夢の実現プロジェクト」チャリティーゴルフ大会の案内状が届きました。9月29日(日)に茅野市の三井の森蓼科ゴルフ倶楽部で行われます。本日、メールにて申込書を送付しました。8月末までに出欠のご回答をお願いします。⑥例会終了後、定例の理事会を開催いたします。メンバーの皆様はお集まりください。

- ◆**委員会報告**●小林由孝親睦・クラブ親善委員長＝①来週は、納涼家族例会となっております。今年度初の家族例会となっております。会場は塩尻のフェリススクレールさんとなっております。古屋会員には、繁忙期にも関わらず、会場を提供頂き、ありがとうございます。送迎のバスもご用意しております。多くの方のご参加をお待ちしております。②ゴルフ例会を8月30日に諏訪湖カントリークラブにて予定をしております。お盆明け、申込締め切りといたします。ご出場される方、また、例会だけご参加の方もいらっしゃるかと思います。ご予約をお願い致します。

- ◆**米山奨学生**●張旭光君＝皆様、こんにちは。近況について報告します。研究では、現在おこなっている糖尿病の研究が、今月でほぼ終了し、この秋に論文をまとめて、投稿する予定となっています。また、生化学肝炎に関する新しい研究もスタートします。生活では、先週、松本地区の夏祭りに参加しました。金魚す



くいや子供達の踊りを見ました。その雰囲気大好きになりました。今後、機会があれば、別の祭りもみてみたいです。

- ◆**セレモニー**●米山功労者感謝状贈呈(2回目)＝小平直史君



- ◆**クラブフォーラム**  
(会員増強・拡大月間) ●河西正一会員選考委員長＝皆さん、こんにちは。会員選考委員長を務めております、河西でございます。本日は、私と藤森郁男職業分類委員長様がおいででいらっしゃいますので、藤森会員にロータリーの話をし

て頂くようお願いしたところ、快諾を頂きましたので、私がお話をした後、藤森会員にお話しをして頂きます。

会員選考の話をししますと、諏訪ロータリークラブの定款に会員資格条件がございまして、『本クラブは善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業専門職および地域社会でよい評判をうけており、地域社会および世界において奉仕



する意欲のある成人によって構成されるものとする』。会員選考において、これを基に会員選考するとなると、『はずれるな』と思うこともあるのかもしれませんが、理念として、このようなことがあるということ、まず皆さんが知っておいて頂ければと思います。

会員選考委員会としては、昨年の伊藤委員長から引継ぎがございまして、会員から推薦された候補者について、委員会で検討し、理事会に報告します。会員選考にあたっては次の点に留意します。①人柄や健康状態はどうか、②業界や地域社会での評価はどうか、③会員として財政的義務を果たし、例会に60%以上出席できるか、④諏訪ロータリークラブのメンバーとしてふさわしいかどうか、を考慮して選考をします、といたいところですが、皆さんが推薦した方を私が選考する、ということとはとてもできません。皆様には素晴らしい方を推薦いただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。それでは、藤森郁男職業分類委員長にお話しを頂きます。皆様のご存じかと思いますが、藤森郁男会員のおじい様が、初代の会長でいらっしゃいます。また、お父様もロータリークラブにいらっしゃり、ご本人もロータリーに入会され40余年になり、3代、ロータリークラブに所属されています。話を伺うと、子供のころからロータリークラブのことをさせられていたとのことです。ロータリークラブとは、もっと長く関わられていると思います。そのあたりも含めて、お話し頂きます。

●藤森郁男職業分類委員長＝皆さん、こんにには。藤森です。先日、急にご依頼を頂きまして、纏まらない話になってしまいます。ご了承ください。

私が初めてロータリーの関わったのが、八十二銀行の支店長さんが「ロータリーの通帳で分からないことがあるので、教えて頂きたい」と訪ねてこられたことがきっかけです。その時、お顔だしをし、解決をしたのですが、それがロータリーと関わるきっかけでした。

その後、私のじいさまが初代の会長をやったのですが、誰が



私のじいさま一緒になって会を支えていたか、ということです。ひとは寺島先生、もうひとは、ぬのはん・藤原社長でした。この二人は、ロータリーに精

通しており、諏訪のロータリーをつくったと思います。その

時の考え方や運営等は、諏訪の気質にあった、諏訪ロータリーの特色のあるものにしていったと記憶しております。そういった諏訪ロータリークラブの伝統の上に、今の諏訪クラブが成り立っていると、私は思います。クラブ計画書の『諏訪ロータリークラブの血筋』を一読してみてください。

諏訪ロータリークラブを創設するとき、奨学資金の確保等に奔走しました。私のじいさまも資金の提供をしました。諏訪市において、この奨学金は有効に使われることとなりました。はじめの頃の奨学生は、このことに感動して、じいさまのお墓参りをしたい、と言ってきたことも記憶にあります。この奨学金については、やはりロータリー精神に基づいておこなった事業である、ということを感じて頂きたいと思ひます。

そのことを、公にしない、という所も、諏訪ロータリークラブらしいと思ひますが、創設時に地域社会に貢献した事業をおこなった、ということはこの場を借りて、お話ししました。

#### ◆今後の例会日程

8/9(金)	家族例会
8/16(金)	法定休日
8/23(金)	クラブ協議会 (前年度決算・新年度予算)
8/30(金)	ゴルフ例会
9/8(日)	ロータリー奉仕デー